

平成28年度 山口県立萩商工高等学校 学校評価書

<教育目標>	<ul style="list-style-type: none"> ○各学科が専門分野を生かした系統的な学習を充実し、各分野のスペシャリストとして必要な知識技術を習得させる。 ○未来の社会を主体的に力強く生き抜く人材を育てるため、豊かな人間性を育むとともに、生徒一人ひとりの個性を生かして、その能力を十分に伸ばすキャリア教育を行う。
<めざす学校像>	<ul style="list-style-type: none"> ①商業学科と工業学科の特色を生かした専門教育の推進と学校行事、部活動を通じて生徒 が生き生きと活動する学校 ②キャリア教育の充実による生徒の多様な進路実現を図る学校 ③地域の産業や伝統文化に学び、地域に信頼され、地域に貢献する学校
<育てたい生徒像>	<ul style="list-style-type: none"> ①心身ともに健康で高い志を持ち、社会から信頼され、チャレンジ精神を持った生徒 ②各学科の専門性と連携を生かし、将来のスペシャリストをめざして知識と技術を習得し た生徒 ③ふるさとを愛し、地域の発展に貢献できる実践力と問題解決能力を身に付けた生徒

2 現状分析(前年度の評価と課題を踏まえて)
<p>①親師会活動については、昨年と同程度の参加率を図ることができた。親師会総会については、思うように出席率が上がらなかった。今後は、内容の検討を図るとともに、保護者への情報発信にも力を入れ、親師会活動の更なる活性化を図っていききたい。</p> <p>②朝読書の実践も定着してきており、落ち着いた雰囲気の中で授業に望んでいる。</p> <p>③家庭学習の時間については、「全くしていない」が本校生徒は26.8%(山口県全体では18.3%)と非常に低く、「家庭学習時間が1時間未満」も52.6%(山口県全体では28.3%)と高い数値を示しており、学習習慣の確立に向けた取組について、保護者と連携しながら、今後、取り組んでいくことが必要である。</p> <p>④校内では比較的落ち着いた態度で学校生活を送っているが、校外において服装、頭髪、生活態度等の乱れが気になる例も見られる。校内はもちろん校外における規範意識の醸成を図って行くことが重要である。自転車事故も何例か起こっており、自転車のマナーも併せて生徒指導により一層力を入れていく必要がある。</p> <p>⑤いじめ等の問題については、未然防止はもちろん早期発見・早期対応につとめた。また、精神的に不安定な生徒についても、教育相談、スクールカウンセラー等と連携した対応ができた。</p> <p>⑥生徒会の役員を中心とした萩往還清掃活動や建築コースの技術ボランティアなど、多くの地域貢献活動を行っている。また、萩LOVEハイスクールや萩駅のイルミネフェスタなど地域と連携した取組にも積極的に関わるなど、様々な活動を活発に実施することができた。</p> <p>⑦部活動については各部とも熱心に練習に取り組み、多くの部が、全国大会、中国大会に出場した。なお、生徒数の減少に伴い、部活動のあり方については検討する必要がある。</p> <p>⑧キャリア教育年間計画にそって進路ガイダンス、進路講話、面接指導等実施した。また、1年次におけるインターンシップについては、商業科と工業科が連携を図って11月の同時実施とした。今後、さらなる連携を深め、段階的・組織的なキャリア教育の推進を図っていくことが大切である。</p> <p>⑨保健室を中心として、生徒、教職員の健康指導を実施するとともに、インフルエンザ等の感染症にも関係機関と連携をとりながら迅速に対応できている。なお、教職員の定期健康診断による再検査について、受診率改善のため、積極的な声かけ等により健康の保持増進を奨めていく必要がある。</p> <p>⑩学校情報の公開と保護者等への周知のために、HP・Twitterやブログ、分掌だより、学級通信等を通して行っている。特に学校の情報を効果的に発信するため、メーリングリストの普及に努め、登録率100%を目指したい。</p> <p>⑪業務改善では、校務分掌の再編を図り、現状と照らして規定の改正等に着手した。今後は、分掌内業務を見直すなど、業務の平準化を図り、教職員の多忙感の解消を進めていきたい。</p> <p>⑫年休の取得については、多くの教員が適正に取得されているが、部活動などについて積極的に休養日を設定するなど、生徒も教員も生活バランスを考えた活動を推進する必要がある。</p>

3 本年度重点を置いて目指す成果・特色、取り組むべき課題
<p><平成28年度チャレンジ目標></p> <p style="text-align: center;">①さわやかな挨拶をする ②身の回りの美化に努める ③目標を持つ</p> <p>【学習指導】 ○「わかる授業」の実践を通して、基礎学力の向上を目指すとともに、家庭における学習習慣の定着を図る。 ○公開授業やアクティブラーニングの実践など、校内研修を積極的に推進し、資質の向上を図る。</p> <p>【生徒指導】 ○多様化する生徒の実態を的確に把握し、朝の正門指導や授業・実習等での教科指導も活用しながら、身だしなみや挨拶など、基本的な生活習慣の確立を図る。 ○情報モラルの低下による「いじめ問題」や自転車マナーを含む「交通ルール遵守」等について、未然防止を基本とした積極的生徒指導の推進を図る。 ○地域貢献活動や各種ボランティア活動等への積極的参加や部活動の活性化などを通して、「豊かな心」を育むための実践活動の充実を図る。</p> <p>【進路指導】 ○インターンシップの充実など、早い段階での職業観・勤労観の育成を図り、計画的キャリアガイダンスを実践し、生徒が主体的に進路選択・決定する能力を育成する。</p> <p>【保健体育】 ○保護者・学校医・部活動顧問とも連携し、健康診断後の受診率向上を図るなど、生涯にわたって健康・安全な生活ができる能力を育成する。</p> <p>【業務改善】 ○組織力アップと多忙感解消のため、業務の平準化およびスリム化を推進するとともに、OJTや校内研修等の充実を図り、学校全体の協働体制の構築を目指す。</p>

4 自己評価					5 学校関係者評価	
評価領域	重点目標	具体的方策(教育活動)	評価基準	達成度	重点目標の達成状況の診断・分析	
総務	1 学校行事の適切な計画、調整、運営	・行事の計画・運営に際し、関係者との調整を図り、事前の準備を徹底させる。 また事後、改善へ向けて検討を行う。	4: 事前の準備と事後の改善が十分にでき、適切な行事運営ができた。 3: 事前の準備と事後の改善ができ、ほぼ適切な行事運営ができた。 2: 事前の準備と事後の改善はできなかったが、行事運営はできた。 1: 事前の準備、事後の改善、行事運営ともに適切でなかった。	3	○年度初めの行事や学期末の行事などについて、関係者と早めの調整を行い、適切な運営ができた。 ○改善点について、事後アンケート等は行わなかった。それぞれの業務の改善点を担当者がまとめ、来年度に引き継ぎたい。	
	2 親師会活動の活性化	・総会及び親師会諸行事の参加率を高めるために、案内状やメール等によって情報を発信し、様々な機会を捉えて保護者に働きかける。	4: 親師会行事へのべ七割以上の参加をいただいた。 3: 親師会行事へのべ五割以上の参加をいただいた。 2: 親師会行事へのべ三割以上の参加をいただいた。 1: 親師会行事への参加がのべ三割未満であった。	3	○親師会総会139名、球技大会85名、萩商工祭35名と、例年より多くの参加があった。特に萩商工祭での親師会企画(もちつき、野菜販売、フリーマーケット)は、保護者の方々の御協力のおかげで、大盛況であった。 ○教育講演会や研修視察は参加者は多くなかったが、有意義な行事となった。 ○メールなどで情報発信を行うとともに、行事の企画・運営について親師会委員会で検討を行い、多くの参加を呼びかけていきたい。	
教務	基礎学力の定着と学習意欲の向上	・朝読書の継続により、読書習慣の定着をはかる。	・家庭での読書習慣を調査し、定着度上げる。 4: 7割以上の生徒が家庭で読書の習慣がついている。 3: 5割以上の生徒が家庭で読書の習慣がついている。 2: 3割以上の生徒が家庭で読書の習慣がついている。 1: 3割未満で読書の習慣がついているといえない。	3	○読書習慣調査から、本校の46.4%の生徒が平日読書をする習慣があると答えている。県での割合は、28.1パーセントであり、読書習慣が身につくつとあると考える。	
		・学習習慣の定着の方策を検討・実施する。	①家庭学習時間の調査 ②方策の検討 実施 4: ①、②ともできた。 3: ①はできた。②については検討できたが、実施できていない。 2: ①はできた。 1: どちらもできなかった。	2	○調査結果から、本校の生徒は県全体と比べても家庭学習に使う時間が非常に少ないことか分かった。方策については、検討の段階であるが、実施までいたっていない。	

学校関係者からの意見・要望等	評価
○部活動での保護者のつながりを利用して声かけを行ったので、萩商工祭の親師会企画への参加が多かった。今後も、案内状やメールで参加を呼びかけるだけでなく、様々な機会を捉え、参加を呼びかけ、親師活動を活性化して欲しい。	B
○読書習慣は、県全体の割合からみても定着しつつあるが、学習習慣については、割合的にも非常に低い。今後方策等について検討して欲しい。	C

4 自己評価					5 学校関係者評価		
評価領域	重点目標	具体的方策(教育活動)	評価基準	達成度	重点目標の達成状況の診断・分析	学校関係者からの意見・要望等	評価
生徒	1 基本的な生活習慣の確立、規範意識の向上	年5回の服装頭髪検査において、就職進学試験に向け、身なり服装の重要性を認識させるとともに再検査の人数を減らしていく	4:1年間の服装頭髪検査において再検査不合格生徒が0名だった。 3:1年間の服装頭髪検査において再検査不合格生徒が10名以下だった。 2:1年間の服装頭髪検査において再検査不合格生徒が20名未満だった。 1:1年間の服装頭髪検査において再検査不合格生徒が30名以上だった。	1	○5回の検査により達成度を評価。 年5回の服装頭髪検査を実施し、各学年30名以上の生徒が再検査になった。 「いつでも面接試験が受けられるような身だしなみ」を掲げ、指導しながら検査を行ったが再検査になる生徒が多数いた。 生徒自身に自覚させると共に、日頃から全教員で指導する等の手立てが必要である。	○頭髪が大幅に乱れているということではない。昨年より基準が厳しいことでの達成度は1ではあるが継続して指導してほしい。	C
		自転車交通事故の減少と自転車交通マナーを改善して規範意識の向上を目的とし、自転車点検や交通安全指導を実施する	4:自転車点検・交通安全指導を行い、十分な成果があった。 3:自転車点検・交通安全指導を行い、ある程度成果があった。 2:自転車点検・交通安全指導を行ったが、事故やマナーの向上につながらなかった。 1:自転車点検・交通安全指導を行う機会がなく、事故やマナーの向上につながらなかった。	3	○自転車点検や交通安全指導の充実を目標に指導している。 ○大きな交通事故等はなかったが、2学期に自転車通学の生徒が自転車と接触し、トラブルとなったことが1件起きた。該当生徒には、接触時の現場対応等の指導を行った。 ○交通事故時には相手の連絡先等を聞かず、その後の事後処理ができないということがありうるので全校集会等で全校生徒に指導している。		
	2 学校行事や部活動の充実による元気の学校づくりの推進	生徒会主導で各種行事が運営できるように促す	4:各種行事において生徒会が主体的にまとまって運営することができた。 3:各種行事において生徒会がほぼまとまって運営することができた。 2:各種行事において生徒会があまりまとまって運営することができなかった。 1:各種活動において生徒会が全くまとまって運営できなかった。	4	○各種行事において、例年以上に生徒会が主体的に計画・企画運営を行った。特に生徒の意見を組み込むために事前に生徒会で話し合い、アンケートや希望調査の仕方を検討したり、行事後の教員の反省や生徒の意見を集約することによって、次の行事に生かそうとする意欲がみられた。	○商工祭等の行事の生徒会企画、生徒の活動は大変好評であり、年々盛り上がりを見せていると感じる。生徒主体で今後も継続してほしい。	B
		各種学校行事で、全校生徒自らが主体的に活動できるように促す。	4:学校行事が実施されるまでに、全校生徒の意見を生徒会でまとめ、全校生徒が主体的に活動できた。 3:学校行事が実施されるまでに、全校生徒の意見を生徒会でまとめ、ある程度の生徒が主体的に活動できた。 2:学校行事が実施されるまでに、全校生徒の意見を生徒会でまとめたが、生徒があまり主体的に活動できなかった。 1:学校行事が実施されるまでに、全校生徒の意見を生徒会でまとめたが、生徒が全く主体的に活動できなかった。	3	○生徒会が各行事の前にアンケート等を実施し、全校生徒の意見を考慮に入れて各行事を実施してきた。生徒総会、商工祭、クリスマス等で新しい取り組みがみられ、全校生徒が積極的に行事に関わるようになってきた。	○行事の宣伝広報の仕方の工夫、ケーブルテレビ等はどういう方法で持って行っているか。生徒を出演させて宣伝する等考えてほしい。	
		地域に貢献する活動を探り実施する。	4:地域に貢献する活動を、新たに全校生徒で行うことができた。 3:地域に貢献する活動を、新たに生徒会役員の生徒で行うことができた。 2:地域に貢献する活動を、新たに行うことができなかった。 1:過去行った地域に貢献する活動も行うことができなかった。	3	○地域社会に萩商工高校をアピールし貢献するため、体育祭や商工祭の案内をポスターやケーブルテレビ、新聞広告により市民に広く宣伝した。 ○自転車キーロックキャンペーンや萩往還清掃活動を行った。		
	3 教育相談活動の充実	・学期に1回、各クラスのいじめ・被害調査から「いじめ検討委員会」を実施し、該当者がある場合は「いじめ対策委員会」などの対応策を講じ、組織的に解決を図る。	4:全ての該当者に対応し全て解消、解決できた。 3:該当者に対応したが解消、解決できないことがあった。 2:該当者に対応したが全て解消、解決できなかった。 1:該当者に対応できなかった。	4	○3学期終了により達成度を評価。いじめ被害調査を、各学期に1回実施している。1学期、2学期に調査で気になる生徒については担任、生徒部で本人、保護者に対応し解消・解決してきた。その調査方法、対応方法について「いじめ検討委員会」で検討し、次のいじめ被害調査に生かした。	○被害調査等の結果を踏まえて担任、教育相談がきめ細かく対応されている。今後も1人ひとりを見守ってほしい。	A
環境保体	生涯にわたって健康・安全な生活の実践ができる能力の育成を目指す。	・健康診断後の受診を促すために、親師会総会、保護者会、各HRなどで積極的に呼びかける。 ・プリントによる受診勧奨を定期的に行う。	4:全体の受診率が90%以上であった。 3:全体の受診率が80%以上であった。 2:全体の受診率が50%以上であった。 1:全体の受診率が30%未満であった。	2	○定期健康診断後毎に受診勧奨を配付し、未受診者には7月、9月末に個別の受診勧奨を再発行し、さらに12月上旬にクラスで指導した。加えて、親師会、保健便り等、保護者に向けて、呼びかけを増やし、全体の受診率は73%であった。昨年度より若干向上したが、生徒自身の健康管理能力育成の一貫として、引き続き、指導をしていきたい。	○健康診断の重要性をもっと周知して90%以上を目指して欲しい。	B
	進んで掃除をし、校内の美化に努める。	・学校医や地域と連携して、各種の健康課題(歯・性・薬物・こころ等)について、生徒の実態に応じた指導を行う。	4:学校医、地域と連携し、保健指導に取り組んで、生徒の健康意識も高まり、実践力がついた。 3:学校医、地域と連携し、保健指導に取り組んだ結果、生徒の健康意識は一時的に高まったが、実践する力があまりついていない。 2:学校医、地域と連携し、保健指導に取り組んだ。 1:学校医、地域と連携した保健指導を計画どおり実施することができなかった。	4	学校歯科医による歯科保健指導を始め、スクールカウンセラーによる心理教育、地域の講師による性教育、薬物乱用防止教育、心肺蘇生法等、生徒の実態に応じ、講演会等を実施出来た。生徒自身が身近な課題と捉え、行動に移したいという感想が多かった。今後も地域との連携を深めていきたい。	○カウンセラーと話しやすい環境づくりの充実と、自己管理の意識を高められるよう、教職員からの積極的な働きかけを期待したい。	
	・掃除にできるだけ早く取りかかるよう教員が声かけを行う。 ・時間いっぱい掃除を行うよう指導監督を徹底する。	4:全員が早く取りかかり時間内いっぱい掃除をした。 3:ほとんどの生徒が取りかかりも早く時間いっぱい掃除をした。 2:取りかかりがやや遅く時間内に掃除を終了している生徒もやや目立つ。 1:取りかかりが遅く時間内に掃除を終了している生徒が目立つ。	3	掃除の取りかかりも早くなり、ほぼ時間いっぱい取り組んでいた。外回りのゴミがやや目につくので、ポイ捨てをしない等の美化意識を徹底させる必要がある。	○校内、校外を含めて意欲的に美化活動に取り組む、いつも、綺麗にしている。全員がすばやく取りかかるよう、今後とも指導していただきたい。		
進路	1 学校教育全体を通して、キャリア教育の充実を図り、生徒一人ひとりの多様な進路希望に対応した進路指導を目指す。	・個々の生徒の進路希望について、進路指導部、外部カウンセラー、学科・学年・担任の連携のもと、面接・相談を行う。	4:全学年・全員に進路面接・相談を実施することができた。 3:全学年についてほぼ進路面接・相談を実施することができた。 2:あまり進路面接・相談を実施することができなかった。 1:全く進路面接・相談を実施することができなかった。	4	○担任・科長(コース長)を中心に就職希望生徒一人ひとりと面談を行い、生徒の希望する企業へ訪問求人をお願いするとともに、生徒へは企業情報の提供を行った。企業の求める生徒像や本人の適性を考慮しながら就職指導を行い、一次募集で昨年以上の内定状況となった(98%)。また本年度は、10月13日に民間企業への就職希望者全員が内定をした。	○就職・進学希望者ともに、当初の目標を達成している。引き続き生徒一人ひとりに対応した指導を継続して行ってほしい。	A
	2 生徒自らがそれぞれの人生設計をし、自主的・主体的な進路選択能力を身につけさせる。	・生徒が自主的・主体的に進路を選択・決定するための能力を育成するため、必要な進路情報の提供や進路実現のための対策を行う。	4:3学年対象に求人票受付状況のメール配信や小論文指導、各種模試や公務員対策指導をする。また1、2年生の保護者対象の進路ガイダンスを実施する。 3:上記項目の4つ以上が実施できた。 2:上記項目の3つが実施できた。 1:上記項目の実施が2つ以下であった。	4	○昨年に引き続き、8月上旬まで求人票の受付状況のメール配信を行った。また国語科の教員と連携し、作文や小論文指導を行うことができた。進路模試や外部講師を招いて公務員の課外講座、1、2年生保護者対象の進路ガイダンスを2学期に実施し、さらに本年度は2年生の進路ガイダンスにおいて、近隣の企業4社にお願いし職種理解を中心とした企業説明会を実施した。		
	・進学希望の生徒に対し、担任・科長・コース長と連携をとりながら、入試状況の提供と指導・助言を行う。	4:該当生徒全員に情報提供を行い、指導・助言ができた。 3:該当生徒についてほぼ全員に情報提供を行い、指導・助言ができた。 2:あまり情報提供や指導・助言ができなかった。 1:全く情報提供や指導・助言ができなかった。	4	○面談や校外の進路ガイダンス、校長教頭面談の企画・実施を通して進学希望者への情報提供、指導ができた。また国語科の教員と連携し、継続的な小論文指導や受験対策を行うことで、4年ぶりに山口大学、3年ぶりに福岡大学の合格者を出すなど、成果を上げることができた。1、2年に対しては本年度新しく進学に関する進路講演会を行い、進学に対する意識の向上を図った。			
商業	1 体系的な進路指導の確立	①1年生からの公務員対策、SPI対策等を行い、意識づけを強くする。 ②2年生からの面接対策を行う。(2年生後半から履歴書、出入り指導等) ③3年生の面接内容、面接指導についての検討を行う	4:左記の3つの取り組みすべてを行い、その後の検討をすることができた。 3:左記の3つの取り組みを行った。 2:左記のうち1つ以上取り組むことができた。 1:左記の取り組みをすることができなかった。	2	○2年生からの面接対策や3年生の面接指導は科全体で取り組む事が出来た。1年生の取組みが充分ではなかった。	○1年生から目標を持って頑張っていくことは大切だと思います。授業としては面白い授業をされていると思います。	C
	2 授業改善	・新学習指導要領に対応した授業改善、シラバスの改訂を行う。 ①全員が研究授業を行う。 ②新科目の検討会を行う。 ③検定の合格者についての分析を行う。	4:左記の3つの取り組みすべてを行い、その後の検討をすることができた。 3:左記の3つの取り組みを行った。 2:左記のうち1つ以上取り組むことができた。 1:左記の取り組みをすることができなかった。	2	○全員の研究授業は実施することが出来なかった。検定については、検定終了後分析・検討することが出来た。新科目に対しても検討することが出来た。		

4 自己評価					5 学校関係者評価		
評価領域	重点目標	具体的方策(教育活動)	評価基準	達成度	重点目標の達成状況の診断・分析	学校関係者からの意見・要望等	評価
機械	目標とした進路実現のために充実した教育活動を行う。	・個別の面談を行うことにより意思の確認を行いつつ、進路について理解を深める。	4:各学年に面談指導を行い、意識を高めることができた。 3:3年生のみ面談指導を行い、意識を高めることができた。 2:一部の生徒にのみ面談指導を行った。 1:実施できなかった。	4	○各学年で個人面談を実施した。3年生は4月に実施し進路決定においても有効で意志の確認、進路指導の充実が図れた。 1,2年生についても、1,2月に実施した。学校生活についての確認、進路指導における導入が行えた。	○資格取得や進路に関連した具体的な資料提示や指導があり保護者として理解しやすかった。	A
	各種の資格取得に取り組む。	・授業の内容に取り入れ、勉強の仕方についての確認を行いつつ、一人でも多くの生徒に資格を取得させる。	4:ほぼ全員の生徒が1つ以上取得した。 3:半数以上の生徒が1つ以上取得した。 2:若干名の生徒が1つ以上取得した。 1:取得できなかった。	3	○授業で取り組んでいる資格については、例年通りの指導を行い、ある程度成果があった。ただし、自学自習する習慣があまりないので、全体で取り組めない試験については満足行く結果ではなかった。この点が今後の課題である。		
土木	1 土木技術者として必要な知識や社会性を養い、充実した進路決定を行う。	・実習や現場見学を通じて、土木に関する興味を深めるとともに社会性の育成にも取り組む。 講話や視聴覚教材を利用し、職業に対する意識を高めるとともに適正な進路について深く考えさせる。	4 実習や現場見学・講話・視聴覚教材等の取組みが充実し、進路決定にも十分役立った。 3 実習や現場見学・講話・視聴覚教材等の取組みを進路決定に役立てることができた。 2 実習や現場見学・講話・視聴覚教材等の取組みを進路決定に役立てることがあまりできなかった。 1 実習や現場見学、講話、視聴覚教材等の取組みが十分にできなかった。	4	○全学年において現場見学を実施することができた。3年生においては卒業生による講話を行い、社会人としての心構え等を学ぶことができた。 ○進路指導についても適切な進路情報を提供し、満足できる進路決定を行うことができた。	○資格取得やコンテスト出場は大きな目標でもあり、それぞれの事情にあわせ、一人ひとりに応じた指導をお願いしたい。	B
	2 資格取得やコンテストを通じ、土木に関する興味や専門的知識・技術を養う。	・補習等により資格に対する意識を高めるとともに土木に関するコンテストにも積極的に取り組むことで専門的な知識や技術を養う。	4 資格取得やコンテストに積極的に取り組み、十分な成果を残すことができた。 3 資格取得やコンテストに積極的に取り組むことができた。 2 資格取得やコンテストへの取組みで、あまり成果が残せなかった。 1 資格取得やコンテストへの取組みが十分にできなかった。	2	○資格取得に関しては従来通りの指導を行うことができたが満足な結果を得ることができなかった。 ○コンテストにおいては学校行事の関係から従来通りの取組ができなかった。		
電気	1 ものづくりの推進	・将来のスペシャリスト育成事業、若年者ものづくり人材育成事業等を活用し、産業界の熟練技術者から指導・助言を頂き、ものづくりコンテストおよび技能士(技能検定)への積極的な取り組みを図る。	ものづくりコンテストの成績・技能士の合格率 4 優勝1、入賞1・100% 3 入賞2・70%以上 2 入賞1・50%以上 1 参加0・50%未満	2	○課題研究「LEDの制御～秋イルミネスタ出展作品の制作～」において、作品を出展した。 ○高校生ものづくり大会(電気工部門)に2名が参加。 ○マイコンカーラリーにおいて、全国大会出場。 ○技能検定は未受験	○資格取得等に向けた取組については、計画をしっかりと立て、指導して欲しい。 ○1年次からの計画的・組織的な指導方法について、しっかりと見直していただきたい。	C
	2 資格取得指導の充実	・検定や資格試験への積極的な取り組みと合格率アップを目指し、ジュニアマイスターの取得数を増やす。	ジュニアマイスターポイントの合計 4 500点以上 3 300点以上 2 200点以上 1 200点未満	3	○349点(1年生175点、2年生140、3年生34) H27 316点(1年生158点、2年生73点、3年生85点) H26 392点(1年生157点、2年生116点、3年生119点) ※生徒数 H28 53名 H27 60名 H26 69名 3年生の資格取得の取組み状況が例年よくない。次年度は、積極的に取り組ませたい。		
建築	1 建築に対する興味を深め、自己の能力や適性に合った進路選択ができるように支援する。	・現場見学・講話等の体験を通じ興味関心を持たせ、自己の適性に合った進路選択を行う。	4:現場見学・視聴覚教材を用いた講話等により興味関心を持たせることが十分にできた。 3:現場見学・視聴覚教材を用いた講話等により興味関心を持たせることがほぼできた。 2:現場見学・視聴覚教材を用いた講話等が十分に実施できなかった。 1:現場見学・視聴覚教材を用いた講話等が実施できなかった。	4	○1学期中に、2・3年生に対し現場見学を実施した。また、2年生に対して1回目の林業インターンシップ(基礎講座)を実施した。 ○2学期には2年生に対し2回目の林業インターンシップ(実践講座)。2年生には山口県土木建築部による「平成28年度山口県建設業出張セミナー」を講師に(株)金子 信建築事務所・阿武智己さんを招き実施した。 3年生については就職・進学ともに全員1次で内定・合格することができた。 ○3学期には1年生に対し現場見学(積水ハウス山口工場・マンダ防府工場)を実施した。	○様々な地域貢献活動がニュース記事として地域に紹介されるなど、注目度も高い。生徒も生き生きと貢献活動をしており、素晴らしい実績も残している。 ○学校PRになっている。今後も継続して取り組んでもらいたい。	A
	2 専門性を活かし、地元の発展に協力することにより地域に貢献する。	・制作物を展示・販売・寄贈等を行うことにより萩商工のPRをするとともに、山口県や萩市の企画に協力しボランティア活動を行う。	4:実習等による作品制作により、山口県や萩市の企画に協力・展示・寄贈を5件以上行い学校のPR、ボランティアを行い地域に貢献できた。 3:実習等による作品制作により、山口県や萩市の企画に協力・展示・寄贈3件以上行い学校のPR、ボランティアを行い地域に貢献できた。 2:実習等による作品を展示・販売し学校のPR、ボランティアを行い地域に貢献できた。 1:実習等による作品を展示・販売し学校のPR、ボランティアを行えず地域に貢献できなかった。	4	○森林インターンシップの一環として頂いた木材を使い、建築実習で阿武町奈古駅裏の奈古グリーンパークに休憩所を制作した。 ○萩社会福祉協議会を通じ要望があった萩市三見地区のお年寄りの集会所に木材実習で制作したベンチを寄贈した。 ○椿東小学校の収納棚を制作した。 ○ものづくりフェスタ2016に恐竜アート作品を出展した。 ○山口県萩農林事務所より依頼を受けて制作したベンチが阿武道の駅、萩セミナーハウス他に設置された。 ○課題研究「技術ボランティア」班が萩社会福祉協議会を通じ、しょこもんマグネットを熊本地震ボランティアに寄贈した。未来を担う子供たちの「福祉教育サポート」事業の一環として、認知症高齢者グループホーム「なごみ」の出入り口にスロープ設置とベンチの寄贈、白水小学校の昇降口にスノコを作成した。 ○課題研究「地域活性化プロジェクト」が道の駅「萩・さんさん三見」にて「日本一精度の高いびわの種飛ばし大会2016」を開催した。着物ウィークIN萩プレミアムにも参加した。 ○萩商工祭での木工作品の販売も盛況であった。		
1年	1 基本的な生活習慣を確立させ、高校生活に適応するための指導を推進する。	・個人面談や保護者会を実施することにより、生徒の状況や問題を把握し、それに合った支援や生活指導を行う。	4:生徒の状況と問題を把握し、支援・指導をすることが十分達成できた。 3:生徒の状況と問題を把握し、支援・指導をすることがほぼ達成できた。 2:生徒の状況と問題を把握し、支援・指導をすることがあまりできなかった。 1:生徒の状況と問題を把握し、支援・指導をすることができなかった。	3	○全員の生徒、保護者と面談を行い、生徒の状況を把握することができた。問題解決に向け生徒部と連携をとり対処している。現在も様々な問題を抱えた生徒がおり、継続的な指導・支援を行っている。	○よく頑張ってください。1年生から進路意識を高めるような取り組みをしてきているのが有り難いです。	A
	2 基礎学力向上のための指導を充実させ、基礎的資格を取得させる。	・3年後の進路を見据えた指導の一貫として、目標をもって学習に取り組ませるとともに、1学年で受検可能な資格を計画的な指導により取得させる。	4:目標をもって学習に取り組む、1年間で90%以上の生徒が資格を取得した。 3:目標をもって学習に取り組む、1年間で70%以上の生徒が資格を取得した。 2:ほぼ目標をもって学習に取り組む、1年間で50%以上の生徒が資格を取得した。 1:目標をもって学習に取り組まず、1年間で50%未満の生徒が資格を取得した。	4	○学習に目標をもって取り組めており、90%以上の生徒が資格を取得した。今後、進路意識を更に高め、進路実現に向けた目標設定や資格取得ができるよう、指導や情報提供をしていきたい。		
2年	1 進路を見据えた上で、学校の中心学年として自覚を持ち、高校生活に対し意欲的に取り組む姿勢を育てる。	・個人面談と保護者会等の実施により、適性な進路・目標の設定、進路実現に向けて準備すべきこと、期日を決めてやるべきことなどのアドバイスをする。同時に、学習面・生活面等についてもきめ細やかな指導を行う。	4:年2回以上の個人面談で生徒の状況と問題を的確に把握し、支援することが十分に達成できた。 3:年1回以上の個人面談で生徒の状況と問題を把握し、支援することがほぼ達成できた。 2:年1回は面談を行ったが生徒の状況と問題を十分に把握できず、支援することがあまりできなかった。 1:面談を実施できず、生徒の状況と問題を把握することも、支援することもできなかった。	3	○各クラスにおいて、生徒個人面談を最低1回は実施した。また保護者懇談会(1学期末、2学期末)を行い生徒の状況(進路を含む)を把握することができた。今後の進路に向けてより一層の進路相談を実施していきたい。	○3年生となるにあたり、目標を持って計画的に取り組んでいけるよう、進路指導の充実を図っていただきたい。	B
	2 基本的な生活習慣を確立させる。	・期日と時間を強く意識させる。提出物を期日までに提出するように指導する。また、時間を厳守するよう指導する。 ・修学旅行、学年行事等の集団行動の場に応じた行動、時間を意識した行動がとれるように指導を行う。	4:100%時間・期日を守り、信頼される行動がとれた。 3:ほぼ、時間・期日を守り、信頼される行動がとれた。 2:時間・期日を守れず、信頼される行動がとれないことがよくあった。 1:ほとんど時間を守れず、信頼を失うような行動が多かった。	3	○全校集会、学年行事等の集合は、時間を意識して行動することができた。提出物については、若干遅れる者がいたので個別指導をした。		

4 自己評価					5 学校関係者評価		
評価領域	重点目標	具体的方策(教育活動)	評価基準	達成度	重点目標の達成状況の診断・分析	学校関係者からの意見・要望等	評価
3年	生徒の希望・適性・能力に応じた進路指導を行う。	・生徒全員に複数回の進路面談・相談を行い、生徒の希望・適性を把握した上で、一人一人に適切な指導を行う。	4: 全員に2回以上、面談・相談を実施することができた。 3: 全員に1回は、面談・相談を実施することができた。 2: あまり面談・相談を実施することができなかった。 1: ほとんど面談・相談を実施することができなかった。	4	○生徒全員に複数回の面談を実施することができ、生徒の希望・適性を把握し適切な指導をし、生徒の進路を決定することができた。	○担任、学年、進路とよく連携をとり、生徒の進路実現のためしっかり取り組んでもらえた。	A
		・生徒・保護者に対し、1学期中に進路資料を提供する。	4: 全員に資料が提供できた。 3: 希望者には、資料が提供できた。 2: あまり資料の提供ができなかった。 1: ほとんど資料の提供ができなかった。	4	○生徒保護者に対し、進路資料を提供することができた。生徒・保護者が進路を考え、決定するために必要な資料や情報を進路科と相談しながら、全員に十分提供できた。		
業務改善	学校の組織等 ・校務分掌の業務見直し	・各分掌内の業務を整理し、円滑な校務の運営を図る。	4: 各分掌内の業務を整理し効率化も図られ、分掌運営が十分にできた。 3: 各分掌内の業務を整理し、業務の見直しを検討することができた。 2: 各分掌内の業務を整理するにとどまった。 1: 各分掌業務のスムーズな運営にとどまった。	3	○本年度、各分掌において、副主任を設け、係主任に関しても明確化した。分掌主任を中心に副主任・係主任と連携して、分掌業務の効率化校務内容の調整を行った。今後は、各分掌内における係業務の見直しと分掌間での連携・調整について一層の充実を図り、組織力の強化を図っていきたい。	○スムーズな分掌運営に努められているが、引き続き、校務の平準化や校務の改善を図っていただきたい。 ○先生方の健康管理に十分留意しながら、生徒の指導に頑張ってください。	B
	各種会議等の時間の短縮と効率化	・会議や校内研修会等の精選及び時間短縮に向けた事前準備の徹底を図る。 ・伝達事項、報告事項についてはできるだけ職員朝礼等で行う。	4: すべての職員朝礼、議事が勤務時間内に終了した。 3: 職員朝礼はほぼ守れが、会議等がたまたま勤務時間を越えることがあった。 2: 職員朝礼や職員会議等で、度々時間を超過した。 1: 職員朝礼、職員会議ともに時間超過が多く、時間短縮や効率化が図れなかった。	3	○朝礼伝達票の裏面の積極的な活用を図り、職員会議での伝達目・資料配付の低減を図るなど職員朝礼を有効に使い、各種会議の時間短縮を図ることは、概ねできている。 ○職員会議後に、短時間で職員研修を行い、教職員の資質向上を図った。その為、勤務時間を超過することがあったが、ほぼ10分程度に留めることができた。		
	勤務状況 ・年休取得の促進	・年休・代休を取得を呼びかける。 ・業務時間記録表をもとに健康管理を呼びかける。 ・ゆとりある職場環境づくりに努める。	4: 教職員の8割以上が、厚生休暇・年休を取得している。 3: 教職員の6割以上が、厚生休暇・年休を取得している。 2: 教職員の4割以上が、厚生休暇・年休を取得している。 1: 教職員の2割以上が、厚生休暇・年休を取得している。	4	○部活動や資格取得の補習など忙しい状況にあるものの、夏期厚生休暇は9割以上の取得率を示しており、年休や代休についても適正に取得されている。また、超過勤務となっている先生方の割合も昨年度に比べ1割程度減少が見られるが、引き続き、教職員の健康管理に十分な配慮し、業務の平準化を図っていきたい。		

6 学校評価総括(取組の成果と課題)
<p>①親師会活動については、昨年と比べて参加率上昇が図られたが、親師会総会については、思うように出席率が上がらなかった。今後は、保護者への情報発信にも力を入れ、親師会活動の更なる活性化を図ってきたい。</p> <p>②読書習慣の身に付いた生徒も増えてきていると感じられ、朝読書の実践も定着してきており、落ち着いた雰囲気での授業に望んでいる。</p> <p>③家庭学習の時間については、「家庭学習時間が1時間未満」「全くしていない」が本校生徒は70.6%(山口県全体では46.0%)と非常に低い。昨年度は、79.6%(山口県全体では16.6%)と1割近く減っているが、学習する生徒としない生徒の格差が広がっているとも考えられる。学習習慣の確立に向けては、今後も保護者と連携しながら取り組んでいくことが大切である。</p> <p>④校内では比較的落ち着いた態度で学校生活を送っているが、校外において服装や生活態度等の乱れが気になる例も見られる。また、スマートフォン等の使用等も含めて規範意識の醸成を図って行くことが重要である。また、引き続き、自転車のマナー等交通安全指導についても、より一層力を入れていく必要がある。</p> <p>⑤いじめ等の問題については、未然防止はもちろん早期発見・早期対応につとめた。また、家庭状況等を含めた諸問題を抱えた生徒についても、教育相談、スクールカウンセラー等と連携した対応ができた。</p> <p>⑥生徒会の役員を中心とした萩往還清掃活動や建築コースの技術ボランティアなど、多くの地域貢献活動を行っている。また、萩LOVEハイスクールや萩駅のイルミネフェスタなど地域と連携した取組も一層充実したものになり、様々な活動を活発に実施することができた。</p> <p>⑦部活動については各部とも熱心に練習に取り組み、多くの部が全国大会、中国大会に出場した。ただし、生徒数の減少等に伴い、今後も部活動のあり方について検討する必要がある。</p> <p>⑧キャリア教育年間計画にそって進路ガイダンス、進路講話、面接指導等実施した。また、1年次インターンシップについては、商業科と工業科が連携を図り、全教職員による同日実施することができた。今後、さらなる教職員の連携を深め、段階的・組織的なキャリア教育の推進と充実を図っていくことが重要である。</p> <p>⑨保健室を中心として、生徒、教職員の健康指導を実施するとともに、インフルエンザ等の感染症にも関係機関と連携をとりながら対応できている。なお、教職員の定期健康診断による再受診について、声かけ等の働きかけにより、改善が見られた。今後も受診率改善のため、健康の保持増進を促していく必要がある。</p> <p>⑩学校情報の公開と保護者等への周知のために、HP・ブログや、分掌だより、学級通信等を通して行っている。特に学校の情報を効果的に発信するため、メーリングリストの普及に努め、登録率は100%近くを達成してきた。今後も登録率100%達成を目指し、開かれた学校づくりに努めたい。</p> <p>⑪業務改善では、校務分掌内の編を回り、スムーズな分掌運営に努められた。引き続き、分掌内業務を見直すなど、業務の平準化を図り、教職員の多忙感の解消を進めていきたい。</p> <p>⑬年休の取得については、多くの教員が適正に取得されているが、部活動などについて積極的に休養日を設定するなど、生徒も教員も生活バランスを考えた活動を推進する必要がある。</p>

7 次年度への改善策
<p>◆地域の協働イベントやボランティア活動等への積極的ななかかわりを通して、郷土愛を育むとともに、地域の発展に貢献できる実践力と問題解決能力を身につける教育活動をより一層推進する。</p> <p>◆校訓である「質実剛健」「至誠一貫」「知行合一」のもと、北浦における専門学校としての新たな歴史と伝統を育んでいくスペシャリスト人材の育成を図るとともに、生徒一人ひとりの進路実現に向けて学校として組織的に取り組む。</p> <p>◆「チャレンジ目標」や「互譲互助」の実践を通して、基本的な生活習慣の確立を目指すとともに、検定・資格取得、部活動や学校行事等の活性化を図り、豊かな人間性を育む。</p> <p>【学習指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「わかる授業」の実践を通して、基礎学力の向上を目指すとともに、家庭における学習習慣の定着を図る。 ○公開授業やアクティブラーニングの実践など、校内研修を積極的に推進し、資質の向上を図る。 <p>【生徒指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多様化する生徒の実態を的確に把握し、朝の正門指導や授業・実習等での教科指導も活用しながら、身だしなみや挨拶など、基本的な生活習慣の確立を図る。 ○情報モラルの低下による「いじめ問題」や自転車マナーを含む「交通ルール遵守」等について、未然防止を基本とした積極的な生徒指導の推進を図る。 ○地域貢献活動や各種ボランティア活動等への積極的な参加や部活動の活性化などを通して、「豊かな心」を育むための実践活動の充実を図る。 <p>【進路指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○インターンシップの充実など、早い段階での職業観・勤労観の育成を図り、計画的キャリアガイダンスを実践し、生徒が主体的に進路選択・決定する能力を育成する。 <p>【保健体育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保護者・学校医・部活動顧問とも連携し、健康診断後の受診率向上を図るなど、生涯にわたって健康・安全な生活ができる能力を育成する。 <p>【業務改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○組織力アップと多忙感解消のため、業務の平準化およびスリム化を推進するとともに、OJTや校内研修等の充実を図り、学校全体の協働体制の構築を目指す。